

◎司会進行 企画課長

1 開会

2 市長あいさつ

○開会に当たり、市を代表して市長より挨拶

委員の皆様におかれましては、本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

北斗市総合戦略検討・推進会議は、北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、さらには戦略の推進に向けた検証を行うため、平成 27 年 7 月に設置させていただき、以来、委員の皆様方には、大変貴重なご意見、ご提案を頂戴し、心から感謝を申し上げます。

平成 28 年 3 月に北海道新幹線が開業し、新函館北斗駅周辺はもとより、きじひき高原などの観光施設をはじめ、市内の人の流れは、開業前に比べますと大きく変化しておりますが、一方で、開業から 4 年目を迎え、J R 北海道の発表による北海道新幹線の利用状況は、減少傾向となっております。

こうした状況の中、北海道新幹線の効果を最大限に引き出し、北斗市の恵まれた地域資源や魅力と結びつけて、経済効果を各産業に波及させていくこと、そして、地域の発展につなげていくことは、私たち行政が、関係機関や団体と連携しながら取り組んでいく、最大の責務であると考えております。

また、この総合戦略の計画期間は、今年度までとなっており、まさに今年は総仕上げの年となっておりますが、すでに国においては、令和 2 年度以降の次期 5 カ年の総合戦略の策定に向けた基本方針が示されているところであり、北斗市といたしましても、この総合戦略に基づく施策の進捗状況をしっかりと評価検証した上で、第 2 期総合戦略の策定作業を進めていかなければならないものと考えております。

こうしたことから、市役所内部におきまして、施策の達成度や進捗状況を検証し、この後、担当から説明いたしますが、現時点における施策の評価をとりまとめたところでございます。

行政内部としての検証のほか、市民目線、市民感覚による外部委員の皆様による検証は、必要不可欠であると存じますし、そして実効性の高い第 2 期総合戦略の策定に向けて、皆様のご協力を賜りたいと存じますので、忌憚のないご意見やご提案を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

3 会長あいさつ

○会長より挨拶

おはようございます。昨年から引き続き、この会議の会長として、議長役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

この会議は、総合戦略の策定、さらには戦略の推進に向けた検証を行うため、平成 27 年 7 月に設置され、以来、会長として参画させていただいております。

この間、北斗市の観光振興プラン、新幹線開業に関連してずーしーほっきーの制作、いさり

び鉄道の命名やデザインにも関わり、いろいろなところでお手伝いさせていただいております。

本日のこの会議では、総合戦略に掲げている各施策の実施状況を確認し、各施策の評価と検証を行うこととなります。

この最終チェックをさせていただいて、来年度から始まる第2期総合戦略の策定作業を進めていくこととなります。

新幹線開業から3年半ということで、北斗市の全国的な知名度が上がっていると思います。

これまでの変化が、数値・KPIとして確認できるということで、大変興味深いものがあります。

資料は非常にボリュームが大きいので、委員の皆様の協力を賜りながら、円滑な議事の進行に努めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

◎司会進行 会長（会議終了まで）

4 議事

○事務局より配付資料の確認、前回から変更のあった委員（5名）を紹介

(1) 北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○企画課長から資料1-1, 1-2に従い、基本目標ごとに数値目標、施策ごとのKPI、主な事業の実施状況、施策の評価について説明を行い、質疑を受けた。

・基本目標1について

発言者	発言内容
企画課長	ふるさと納税を活用した特産品PRについて、一部の自治体で高価な返礼品を送るなど過熱していた状況だったため、今年6月に総務省が寄付額に対する返礼品の割合を3割にするといった法規制を行った。 これにより、ふるさと納税が同じ土俵で勝負できることになったことから、北斗市の特産品や魅力をふるさと納税の返礼品に登録することで広くPRし、また寄付額、歳入を確保していきたいと考えている。 このように、さらに知恵を出していかなければならないが、ふるさと納税に関するアイデアがあれば頂戴したい。
委員	北斗市の特産品として思い浮かぶのが、魚介やトマトである。 ただ、以前ホテル勤務していた時の知り合いに聞くと、北斗市の牛肉の評価が高いようだ。 北海道の牛肉では大沼牛が有名だが、調理師は北斗市の牛肉の方が使いやすいと話していた。 知名度的に宣伝不足があるのかもしれない。 北斗市の特産品として、返礼品に出しても良いのではないかと。 牛肉以外にも、調理のプロから見ると高い評価を得ているものが他にもあるようなので、そのような方からアドバイスしてもらえると、新たな返礼品も生まれるのではないかと。
経済部長	北斗市内の牛肉を出荷しているのは1社のみで、家族経営であることから、流通の量がかなり少ない状態である。 人気の高い、品質の良いものであると認識しており、実際ふるさと納税の返礼品にも登録している。 数が少ないことから、すぐに品切れになってしまう状況である。 そのほかの特産品についてもPRできるよう、力を入れていきたい。

委員	観光交流センター別館について、専門業者のノウハウを活用し、運営計画を策定中ということだが、実行まで時間がかかると思う。 残っている10店舗に対する、支援などは考えているか。
経済部長	具体的な支援策は持ちあわせていない。 ただ、以前から指定管理者である観光協会との協議の中で、今ある店舗の売上が少しでも増えるような取り組みの1つとして、観光バスに対して、ほっくるに立ち寄ってもらえるような働きかけを提案させていただいているが、中々実行に移せていないのが現状である。 そのほかに、駅前の賑わいを創出しようとする取り組みとして、冬期間のイルミネーションというものも実施していきたい。

※施策の評価についても了承。

・基本目標2について

※質疑等はなく、施策の評価についても了承。

・基本目標3について

発言者	発言内容
民生部長	合計特殊出生率の関係で補足させていただく。 計画策定時1.31であり、以降、平成28年度1.37、平成29年度1.41と右肩上がりであったが、現状1.33となった。 ただ、合併後の推移を見ても、上下している状況であり、一定の割合で増加するという事にはなっていない。 また、出生数という数値目標に対して、事業実績として表すことができるのが不妊治療助成事業であり、平成30年度では実人数19名に助成を行い、6名出産している。 この事業は平成28年度から始まり、平成30年までに49名が助成を受けられ、うち24名の方が出産している。

※施策の評価についても了承。

・基本計画4について

※質疑等はなく、施策の評価についても了承。

・全体を通じて

発言者	発言内容
会長	KPIの性質上、どうしても目標値よりも低く出る傾向がある。 全体的に低い状態になっている、根本的な理由があるではないか。 このことについて、どのように考えているかについてお聞かせ願いたい。
企画課長	庁内での評価検証でも、平成27年度に設定したKPIに対して、4年経過したが乖離があるという認識である。 平成27年度当時のKPIの設定の考え方についても確認している。 第2期総合戦略のKPIを設定についても、アウトプット指標とアウトカム指標に区分しながら、考え方を整理していかなければならない。
会長	次の戦略では、動きがはっきり分かるように工夫していただきたい。

委員	ブックスタート事業で子どもに読み聞かせをするという事業を行っているが、まずは子どもの親を教育していく必要があるのではと考えている。スマホが親だけでなく子どもにも浸透し、これにより子どもと親で話し合う場がないということを知っている。これを解消するための施策を検討いただきたい。
民生部長	ブックスタート事業は、読み聞かせをするために本を配るというものではなく、親子ふれあいの一助として親が子どもに本を読んでくださいという、親子のつながりを作るという目的がある。子育ての仕方については、我々も疑問に思うことはある。現在は、高校生などに対して、子育ての楽しさ、子育ての方法などを教えていきたいということで、思春期教室を実施している。
委員	企業が立地すれば、そこには雇用が生まれる。北斗市は土地もあり、空港までのアクセス等を見ても、立地環境は恵まれている。もっと大胆に優遇策を打ち、PRをしっかりと行うことで、企業立地を進めていただきたい。
委員	総合戦略の大きい目的は、人口減少という大きい流れをどのように食い止めるのかである。人口が目標よりも少し上積みされているという結果が出ているので、個別のKPIではうまくいっていない部分もあると思うが、大きい目標としては良いところまで行っているという評価をしても良いのではないかと。また、今年サッポロビールで作られたヴィンヤードで、ブドウの収穫までとなっているが、いずれ地元でワインを作るところまでいくと、より良いものになるのではないかと。ワインの生産が今後は道南に移っていくのではという展望もあるので、早めに手が打てると良いのでは。
企画課長	基本目標4の数値目標については、現在人口は年間200人ほど減少しており、現状では目標を上回るのは厳しい状況である。
経済部長	大胆な優遇策によるPRについては、参考にさせていただきたい。企業誘致を行うに当たり、金銭的な支援だけが武器とは捉えていない。特に北斗市の場合は、立地環境の優位性も武器にして、誘致にあたる考えを持っている。サッポロビールを中心としたワイン産業の確立については、できる限り市としてできる支援をしていく考えである。また、サッポロビールについては、この場所にワイナリーが作られることが望ましいと考えており、市長を筆頭に要請活動を行っていきたい。

(2) 2019年度地方創生推進交付金事業について

○企画課長から資料2に従って説明を行い、意見等なし。

(3) まち・ひと・しごと創生基本方針2019について

○企画課長から資料3に従って説明を行い、意見等なし。

(4) 第2期総合戦略策定に向けたスケジュールについて

○企画課長から資料4に従って説明を行い、意見等なし。

(5)その他

本日の議事はここまでとなるが、その他ということで全体をとおして何かあればご意見を伺いたい。

発言者	発言内容
委員	<p>思春期教室を中学生、高校生に向けて実施しているが、まずは幼少期のお子さんがある親御さんの子育てをサポートする講座が必要ではないか。</p> <p>1回のみ開催されている講座だけでは、都合で出られない方も多数いるようで、今回行われた講座の出席者の顔ぶれを見ると、今現在子育てをされている方は少なく、子育てが終わっている方が多かった。</p> <p>三歳児健診のあとは就学前健診まで間が空き、子どもの発達状況しか分からないようなので、日々の子育てを助けるような講座や市の保健師さんがフランクに話せるような講座を開催できる施策の方が現実的ではないか。</p> <p>また、茂辺地地区の創生について、広場に行くまでに何も示すものがないため、広場だけでなくそこに至るまでの整備も考慮すべきではないか。</p>
民生部長	<p>何かを案内しても中々出てこない、出産前後に保健師などが家庭を訪問しようとして電話しても出てくれないという方が多数いる。</p> <p>子育てに困っている場合には、養育支援事業という子育てを一緒にお手伝いする事業を行っているが、助けを出してくれないというのが現状である。</p> <p>これを解消するためにも、順次探っていきたいと考えている。</p>
副市長	<p>基本目標3で出生率を上げるという目標を立てたが、中々上がってこない。</p> <p>一方で、北斗市の子育て支援策は早くから充実しているので、計画策定段階で若干の事業を加えることで上向いていくという期待があった。</p> <p>ただ、結果としては上がってきていない。</p> <p>支援策が充実していることとのギャップがあるのは、子育て世帯の様々なニーズがあって、答え切れていない部分があるのか、支援策のPRが不足しているのがあるのだろうと考えている。</p> <p>人口減少の局面にあって、これを上向かせるには、非常にいろいろなニーズを正確・的確に捉えて、ごく少数であっても可能な施策を出していくことが必要である。</p> <p>富山県舟橋村という人口が倍になったところがあり、子育て支援策の充実とともに、子育てを終えた方と現役子育て世代との交流の場を設けている。</p> <p>茂辺地の件について、地域の中で一部の方は前向きに意識を持って盛り上げているが、大方が冷ややかな目線で見ている。</p> <p>この意識の底上げをしていかなければ、地域の振興、活性化は中々難しい。</p> <p>これは、茂辺地地域に限ったことではなくて、北斗市全体を捉えても同じようなことが言える。</p> <p>ご指摘の点を踏まえ、目に見える形で誘導ができるものがあれば、いろいろな主体と連携して取り組んでいきたい。</p>
教育長	<p>子どもは、幼少期の教育が非常に大事だと思っている。</p> <p>子どもを妊娠した時点で、子どもの育て方というものを教育していかないといけない。</p> <p>母子手帳の交付と一緒に、子どもの成長に応じた育て方を親に周知していかなければならないし、冊子だけでなく、講習会への参加を働きかけていくことが大事である。</p>

委員	<p>貧困格差が原因で不登校になられているお子さんはいるのか。</p> <p>市内に子ども食堂の存在もあまり聞いたことがない。</p> <p>子育てしやすい北斗市においても、親御さんから子どもさんに対する虐待があつて、警察が出動していることが起きているのか。</p>
教育長	<p>不登校は、小学生は少ないが、中学生になると多い状況にある。</p> <p>その原因として、勉強が分からない、起立性障害や自律神経失調症によるもの、友人関係によるものがある。</p> <p>これが全て貧困によるものではないと思うが、貧困家庭において学力が低下するというのは、その親の行動が自然と子どもに移っているのが原因といわれている。</p> <p>今後は、いくら貧しくても、親からの教育として規則正しい生活を送っていくということで、不登校が減っていくのではないかと考えている。</p>
民生部長	<p>北斗市内に子ども食堂はないが、旧大野地区にふれあい食堂という低価格で提供する、子どもも含めた形の食堂が行われている。</p> <p>夏休み・冬休みには教育大の学生がボランティアで勉強を見てくれるということも行われている。</p> <p>虐待の相談件数はここ数年多くなってきている。</p> <p>その対応として、要保護対策協議会で個別に対策を取っており、最終的な手段として母子分離、子どもを児童相談所に預けることとなる。</p> <p>虐待の内容としてもリスクが高くなっており、何らかの方策を考えていかなければならない。</p>

事務局から、任期が8月30日で満了となるが、第2期戦略の策定に向けて引き続き委員の引き受けを依頼。

5 閉会

本日の会議を終了する。